

總

台灣・日本編

合商業日本語



中國生產力中心業務處推薦

小竹 優美子著

台灣・日本編

綜合商業日本語



旺文出版

序

在現今的國際化社會裏，天涯若比鄰，中日兩國近在咫尺，向來商務往來，人員交流密切，國際貿易活動也愈來愈頻繁；日本市場更是在美加、歐洲市場外，為企業必爭的據點，故為促進中日貿易往來，日語實為不可或缺的工具。

小竹優美子老師，學有專精，曾任職日本商社，來台教學多年，深知國內人士學習日本語的要領。目前擔任中國生產力中心商業日語講師，並參與對日貿易人才培訓工作，熱心教學，成效博得同學一致讚許好評。

本書羅致中、日兩國日常商業用語，並編排許多企業實例，內容豐富，文詞淺顯易懂，誠為學習商業日本語之最佳範例，亦可供為日文進階之課外讀物，只要研讀翻閱，細心揣摩，必定獲益匪淺。

在眾多日本語之讀物中，能令讀者在短時間內得到成果吸收者，此書可為其中代表，故樂為之序。

經濟部次長

江 丙 坤

中華民國七十九年三月三日

まえがき

日本が経済的に成功し、「経営は日本に学べ」というのが、世界的な風潮になっている今日この頃です。ここ台湾でも、日本に関する情報、特に、経済、貿易、ビジネスに関してが、一番求められているようです。

実際に、国貿局、中国生産力中心（日本生産性本部にあたる）、各大学付属センターなどで、対日貿易講座が数多く開講されています。

しかし、残念なことに、日本と台湾の両国を、理解しながら学べるという方面の日本語の書物は、あまりないのが現状です。それで筆者は、多くの方に、両国の状況、関係を把握しながら、日本語で日台経済を学んでいただきたいという一心で、この書を編纂致しました。

なお、経済だけでなく、各課毎に、皆様がリラックスしながら、楽しく学習できるようなお話しも、盛り込まれています。

末筆ですが、お忙しい中、序文をくださいました経済部次長（通産省次官に相当する）江 丙坤様、翻訳してくださいました呂 鎮安様（台湾観光協会ガイド）、校正してくださいました松田良次様（野村証券台北代表取締役）、星野幹雄様（第一勸業銀行台北支店調査課課長）、新保 進様（銘伝商専講師）、久保淑子様（元YMCA 専任講師）、そしてお手伝いくださいました詹 珍瑞（新光企業・台証証券經理）に、紙面を借りてお礼を申し上げます。

編集には最善を尽くしたつもりですが、不備な点もあるかと存じますので、皆様の御指導をお願い申し上げます。

この書が、少しでも、日本と台湾間の経済、及び友好関係のお役に立てれば幸いです。

小竹 優美子

1990年3月3日

中国生産力中心にて

（生産性本部）

作者序

日本在經濟上發展成功，引起「經營學日本」成為現今世界的風潮。在台灣也是，關於日本方面的情報，特別是經濟、貿易、商業等最為需求殷切。

實際上，在國貿局中國生產力中心，以及各大學附屬教育推廣中心等，開了很多對日貿易課程。

但是，可惜的是（在現況之下），很少有可以邊理解兩國情事，邊學習日語的書籍，因此，筆者為提供大家，能在掌握兩國的現況和關係之下，以日語學習台灣和日本的經濟之心編纂此書。

而且，不僅是經濟，並於每課網羅趣味小語，讓各位可以在輕鬆愉快的心情下，快樂地學習。

最後，感謝經濟部次長江丙坤先生，在百忙之中賜序，並謹藉此對本書翻譯呂鎮安先生（台灣觀光協會導遊），校正松田良次先生（野村證券台北支店長）、星野幹雄先生（第一勸業銀行台北支店調查課長）、新保進先生（銘傳商專講師）、久保淑子小姐（原 YMCA 專任講師），及熱心幫忙的詹珍瑞先生（新光企業、台證證券經理）等致最高謝意。

在編輯上，雖力求完美，但疏漏之處在所難免，尚祈各位不吝指教，感激不盡。本書若能對台灣和日本間的經濟以及友好關係多少有所助益的話，則甚幸也。

小竹 優美子

1990 年 3 月 3 日

於中國生產力中心

目次

序

まえがき〈作者序〉

1—1	会話	台湾と日本について語る(1)～面積・気候……………	4
		〈談談關於台灣與日本(1)～面積・氣候〉	
2	長文	日本のあらまし……………	8
		〈日本の概況〉	
3	coffee break	あ～男の悲哀がヒシヒシ～フラれたその日の過ごし方……………	12
		〈啊！痛切的男性悲哀～如何渡過分手的日子〉	
2—1	会話	台湾と日本について語る2～人口・メディア、新聞……………	16
		〈談談關於台灣與日本(2)～人口・新聞媒體〉	
2	長文	アジアオープンフォーラム日台交流に新時代……………	20
		〈開創中日交流的新時代〉	
3	coffee break	テレホンカード～お父さん!!入らないのがあたりまえです……………	24
		〈電話卡～放不進去是當然的！爸爸!!〉	
3—1	会話	台湾と日本について語る3～言語・宗教……………	28
		〈談談關於台灣與日本(3)～語言・宗教〉	
2	長文	台湾市場に復帰したトヨタ……………	32
		〈豐田汽車重回台灣市場〉	
3	coffee break	二兎を追う者、一兎をも得ず……………	36
		〈腳踏兩條船，兩頭落空〉	
4—1	会話	台湾と日本について語る4～貿易……………	40
		〈談談關於台灣與日本(4)～貿易〉	
2	長文	儒教文化圏はなぜ強いのか……………	44
		〈儒教文化圈為何強盛〉	
3	coffee break	頭の体操……………	48
		〈頭腦體操〉	

5—1	会話	台北市の物価……………	52
		〈台北市の物價〉	
2	長文	台北市の物価……………	56
		〈台北市の物價〉	
3	coffee break	こんな管理職はクビにしよう……………	60
		〈這種幹部辭職算了〉	
6—1	会話	台湾の「NTドル」高……………	64
		〈台幣升值〉	
2	長文	二千年には先進国の仲間入り(1)……………	68
		〈公元 2000 年進入已開發國家行列(1)〉	
3	長文	二千年には先進国の仲間入り(2)……………	72
		〈公元 2000 年進入已開發國家行列(2)〉	
4	coffee break	目頭が熱くなった誕生日……………	76
		〈熱淚盈眶的生日〉	
7—1	会話	転職時代……………	80
		〈跳槽時代〉	
2	長文	バイトにもハワイ研修……………	84
		〈工讀生的夏威夷研習〉	
3	coffee break	一発も銃を撃たなかった私……………	88
		〈我——沒射一槍一彈〉	
8—1	会話	熟年層の転職……………	92
		〈成熟中年階層的跳槽問題〉	
2	長文	転職時代・終身雇用は崩れず(1)……………	96
		〈跳槽時代・未影響日本終身雇用制(1)〉	
3	長文	転職時代・終身雇用は崩れず(2)……………	100
		〈跳槽時代・未影響日本終身雇用制(2)〉	
4	coffee break	私の健康法……………	104
		〈我的健康法〉	

9-1	会話	溢れる台湾マネー……………	108
		〈台灣錢淹腳目〉	
2	長文	台湾マネー(1)共産国も吸い寄せる……………	112
		〈台灣 MONEY(1)共産國家也爭相吸取〉	
3	長文	台湾マネー(2)共産国も吸い寄せる……………	116
		〈台灣 MONEY(2)共産國家也爭相吸取〉	
4	coffee break	相談コーナー～彼のため400万円ほしい……………	120
		〈討論園地～爲了他需要 400 萬円〉	
10-1	会話	世界一の物価高日本(1)……………	124
		〈世界最高物價的日本(1)〉	
2	長文	日本の物価高を証明……………	128
		〈日本的高物價明證〉	
3	coffee break	おもしろいことわざ……………	132
		〈有趣的成語〉	
11-1	会話	物価高(2)日本人の消費習慣……………	136
		〈高物價的日本(2)日本人的消費習慣〉	
2	長文	年末・・・あなたは何にしますか？……………	140
		〈歲末將臨……妳將如何打算？〉	
3	coffee break	天狗の鼻～付焼刃でいつ折れるか……………	144
		〈得意忘形～逞強容易失敗〉	
12-1	会話	NIES 家電について……………	148
		〈關於 NIES 的家電產品〉	
2	長文	NIES 家電旋風去る……………	152
		〈NIES 家電旋風衰退〉	
3	coffee break	「五重ロック」の不信感（香港）……………	156
		〈五重鎖的不信任感〉	

13—1	会話	日本のビール戦争……………	160
		〈日本的啤酒戦争〉	
2	長文	ガリバー「麒麟」50%割れ確実に……………	164
		〈啤酒業的巨人「麒麟牌」確定跌破50%〉	
3	coffee break	おでんのルーツ……………	168
		〈黒輪的始祖〉	
14—1	会話	日本と台湾における流通業界……………	172
		〈日本和台灣的買賣業〉	
2	長文	日本流通業界の“主戦場”に……………	176
		〈日本買賣業在台灣〉	
3	coffee break	ニューヨーク、カラオケバーの繁盛……………	180
		〈興盛中的紐約卡拉OK酒吧〉	
15—1	会話	株式市場……………	184
		〈股票市場〉	
2	長文	英仏の証券会社受け入れ……………	190
		〈日本接受英法兩國證券商〉	
3	coffee break	新しいビジネスマン像「成熟の時代」……………	194
		〈新的上班族形像，「成熟的時代」〉	

台灣・日本編

綜合商業日本語



旺文出版

綜合商業日本語

總策劃／蔡焜霖
作者／小竹 優美子
編輯組長／林伶妙
編輯／詹吟英 蔡月華
助理編輯／林怡旭
美術主任／萬月卿
美術編輯／覃美珠 陳玉婷
發行專員／洪復生
管理部襄理／張碧桂
會計／李瑞慶
封面設計／萬月卿

發行人／李錫敏
出版者／旺文社股份有限公司
地址／台北市新生南路一段 126-6 號四樓
電話／(02)3211434・3218340・3211437
郵撥帳號／1131222-2
登記證／行政院新聞局版台業字第 3835 號
打字／陽明電腦排版股份有限公司
印刷裝訂／崇豐印刷企業有限公司
初版／中華民國七十九年三月
總經銷／學英文化事業有限公司
電話／(02)9127307

法律顧問／吳松枝律師
尤英夫律師
台北市松江路65號12F
TEL:(02)506-7197(10線)

出版權・發行權
台灣／旺文社股份有限公司 FAX: 3415614
港澳／順揚投資有限公司 TEL: (5)8383112
香港軒尼詩道245-251號守時商業大廈19F A座

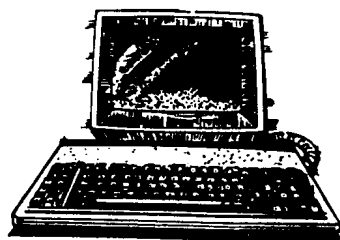
定價／新台幣 180 元

版權所有・翻印必究

ISBN 957-508-037-8

台灣・日本編

総合商業日本語



1 台湾と日本について語る (1)

1-1 会話

<面積>

陳：台湾の面積は約 36,000 km²です。南北の長さは 377 km です。

加藤：日本の面積は約 370,000 km²ですから、台湾の 10.3 倍ですね。台湾は九州より一回り小さい位ということですね。

陳：えっ！日本はもっと小さいと思っていました。

加藤：台湾よりは広いですが、中国の約 25 分の 1 しかありませんよ。

陳：島が多いと聞きましたが。

加藤：北海道・本州・四国・九州の四つの大きな島、そして小さな 3000 の島によって構成されています。

<気候>

陳：台湾のほぼ中央部（嘉義）に、北回帰線が通っているので、南部は熱帯性気候ですが、大部分は亜熱帯性気候です。

加藤：日本は北から南まで 3,000 km と南北に長いので、北海道地方は亜寒帯、沖縄周辺は亜熱帯で、そこ以外は温帯に属しています。

陳：台湾は高温多雨で、年に二度梅雨がありますが、日本にもありますか。

加藤：六月から七月にかけて梅雨がありますが、北海道にはこのような長雨はありません。

日本は四季がはっきりと分かれていますので、それぞれの季節が満喫できていいですよ。

陳：台湾では四季の楽しみがないので、日本に行ったら秋の紅葉を見てみたいものです。

■ 1-1 中文釋義

談談關於台灣與日本(1)

<面積>

陳：台灣的面積約 3 萬 6 千平方公里，南北長約 377 公里。

加藤：日本的面積約 37 萬平方公里，是台灣的 10.3 倍，台灣比九州稍小。

陳：是嗎？一直以爲日本很小。

加藤：是比台灣大，但只有中國的 25 分之 1 而已。

陳：聽說島嶼很多是嗎？

加藤：是由北海道、本州、四國、九州四大島及 3000 多個小島所構成。

<氣候>

陳：因爲北迴歸線通過台灣中部（嘉義），所以南部是熱帶性氣候，但大部分是亞熱帶氣候。

加藤：日本南北長 3 千公里，北海道是亞寒帶，沖繩周邊是亞熱帶，其餘屬溫帶。

陳：台灣高溫多雨，一年有二次梅雨，日本也有嗎？

加藤：從 6 月到 7 月有梅雨，北海道沒有下這麼久的雨，日本四季分明，可以充分享受四季之美，真好！

陳：因爲台灣沒有四季變化的情趣，所以去日本的話，想看看日本秋天的紅葉。

■ 1-1 単語ノート

<面積>

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 南北 | なんぼく |
| 2. 一回り小さい | ひとまわりちいさい |
| 3. によって=から | |
| 4. 構成（する） | こうせいする |

<気候>

- | | |
|------------|----------|
| 5. 北回帰線 | きたかいきせん |
| 6. 熱帯性 | ねったいせい |
| 7. 周辺 | しゅうへん |
| 8. 属（する） | ぞくする |
| 9. 分かれ（る） | わかれる |
| 10. 満喫（する） | まんきつする |
| 11. 紅葉 | こうよう |
| 12. 高温多雨 | こうおんたう |
| 13. 梅雨 | つゆ、ばいう |
| 14. 長雨 | ながあめ |
| 15. 常緑樹 | じょうりよくじゅ |

■ 1-1 詞彙

<面積>

1. 南北
2. 小一圈
3. 依……、由……
4. 構成

<氣候>

5. 北迴歸線
6. 熱帶性
7. 周邊、周圍
8. 屬
9. 分(的清楚)
10. 充分享受
11. 楓葉、紅葉
12. 高溫多雨
13. 梅雨
14. 長久下雨
15. 常綠樹

• Note •

■ 1-2 長文

日本のあらまし

日本の気候は温帯季節風型。四季の変化が著しいが、複雑な地形から地域差が大きい。

極東の島国という特殊な位置から、中国の影響を受けながらも独自の文化を形成してきた。近世の長い鎖国の後、1854年に開国した。1868年（明治元年）に、天皇の統治する近代国家として出発した。富国強兵のスローガンの下、帝国主義的政策を進め、日清・日露戦争および第一次大戦に勝利し、1910年朝鮮併合、32年満州を占領した。しかし、第二次大戦に敗れ、47年新憲法を施行して、象徴としての天皇をもつ国民主権国家として再出発した。

60年以降経済の高度成長はめざましく、超経済大国へと発展した。一方で大幅な貿易黒字により、アメリカおよびEC諸国からの批判も強く、また防衛費がGNP比1%を突破したことで、近隣諸国に軍事大国化への警戒心を引き起こしている。

戦後ほぼ一貫して維持されてきた保守政権は、税制改革、農産物の輸入自由化、日米経済摩擦など、諸問題に取り組んでいる。

